

かわしま介護トピックス

かわしま介護保険サービスセンター
かわしまヘルパーステーション
川島整形外科病院通所リハビリテーション
訪問看護ステーションかわしま

2008年4月1日 **第2号**

発行/医療法人 玄真堂 介護保険事業部 広報部
大分県中津市宮夫14-1 ☎0979-24-2423

水墨画/清尾喜美子様 (通所リハビリご利用者)



<活動情報>

- 川島整形外科病院通所リハビリテーション
くもん学習療法開始
- 訪問看護ステーションかわしま
訪問リハビリ報告

<介護医療情報>

- 通所リハビリ看護ニュース
入浴時の注意点
- かわしま介護保険サービスセンター
**介護保険最新情報
住宅改修について**
- 認知症介護のワンポイント**
- ホームページのお知らせ**



ごあいさつ

医療法人 玄真堂 理事長
川島 真人



玄真堂の理念は、「安心・安全・やすらぎ・心のこもったサービスを提供する」ということでもあります。

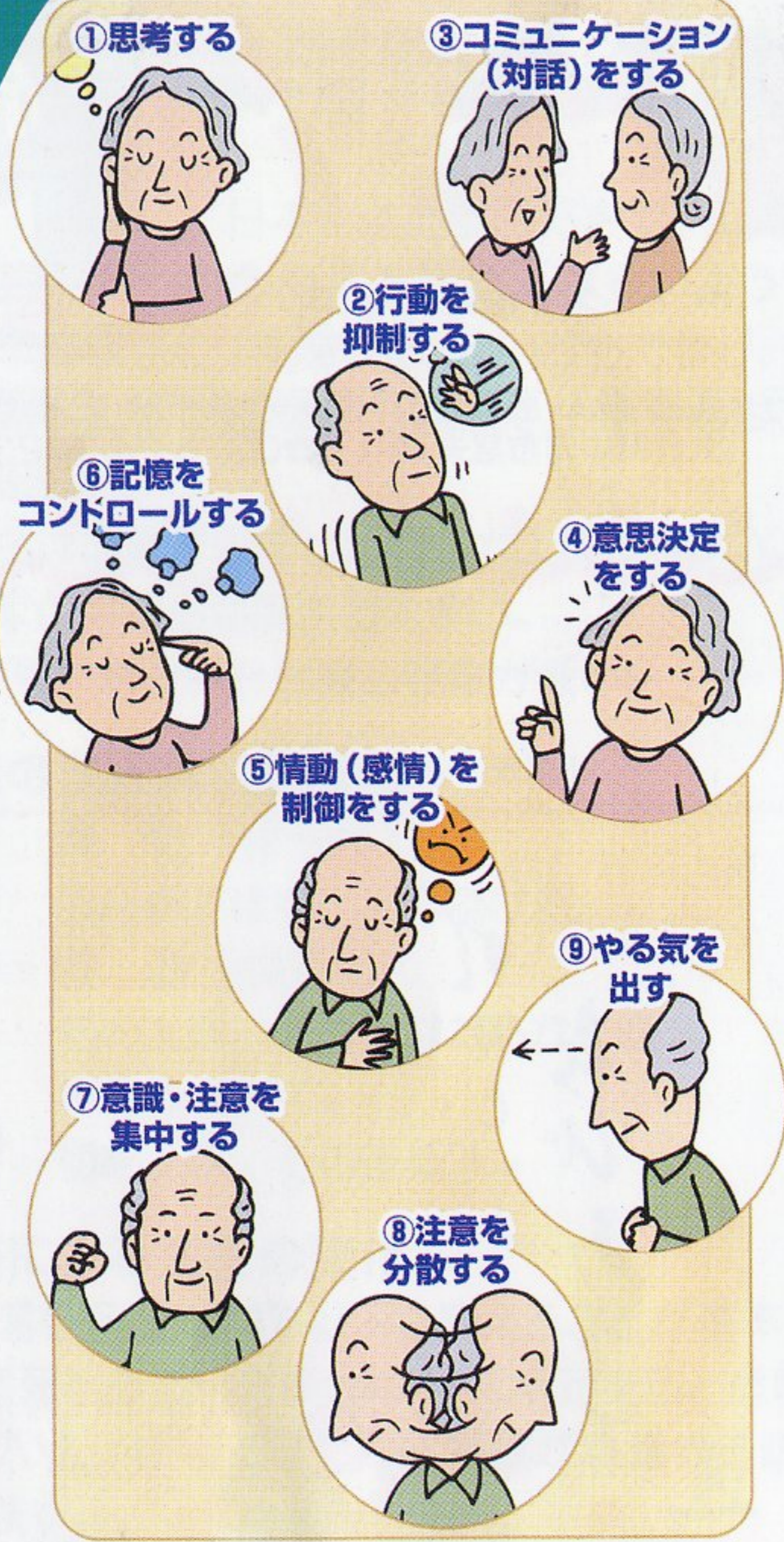
近年、「格差社会」「後期高齢者医療」など、高齢者の方が非常に寂しい思いをすることが続いております。私達は、高齢者の方も笑って過ごせる社会を目指して今年度、「愛と創造と革新と感動とサプライズ」をテーマに、職員一同心を一つにして努力いたす覚悟であります。何卒よろしくお願い申し上げます。

祝10周年大忘年会

楽しい」

受による研究で、
ている時や、声
いる時に、認知
脳の前頭前野を
ることがわかっ

する教材を用い
ら行うことで、
する「くもん学
ら始めました。
ても熱心に取り



暮れも押し迫った12月29日に、利用者様に感謝の気持ちをこめ忘年会を行いました。

会場を、約2メートルの高さの大量の竹で飾り付け、職員は和装をし、和の雰囲気を出しました。会場に入った利用者様の「わー」という驚いた歓声に、準備は大変でしたが、「やってよかった。」と思いました。

忘年会は、

- ・ 1年間の活動で功績のあった利用者様の表彰
 - ・ 利用者様代表の発声もとで“乾杯！”
 - ・ 職員手作りの10周年記念メモリアルビデオの放映
 - ・ 理事長による挨拶と笛の演奏
 - ・ 鯛の解体ショー・津軽三味線の演奏
 - ・ 体に響き渡る響鬼太鼓の感動のステージ
- カラオケ大会で盛り上がり、あっという間に過ぎていきました。

運動に励まれている時の真剣な表情や、普段の笑顔とはまた違う、皆様によるこびの笑顔に多く触れることができ、職員一同「これからも利用者様やご家族様にとって、よりよい通所リハビリテーション施設でありたい。」と、心を新たにした日となりました。



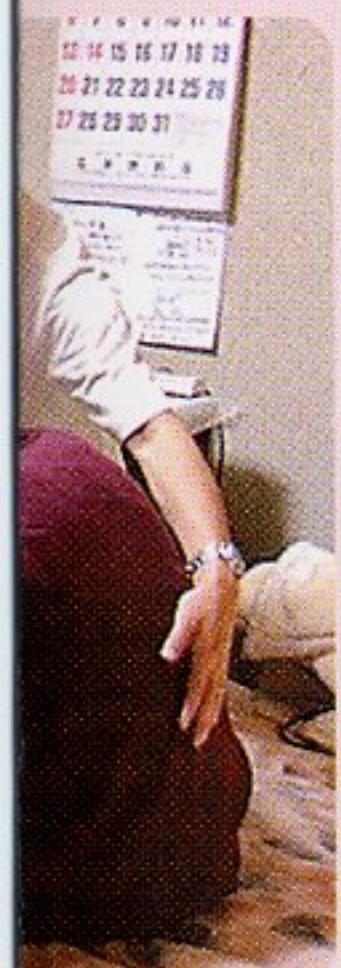
訪問看護ステーション

皆様の喜びや笑顔が
私たちの活動の源です！

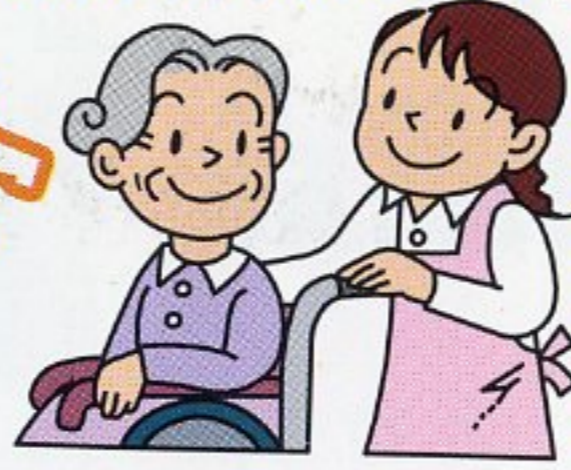
訪問リハビリを開始して

退院後やベッド上の生活の方に、看護師、理学療法士、作業療法士がご自宅に伺い、起き上がり、ベッドから椅子への移動、歩行練習などのリハビリを行います。

又ご家族には自宅での生活における介護・医療に関する指導や助言を行います。



認知症介護のアンポイント 介護保険サービスセンター



- ①習慣的に行ってきた日常生活が次第にできなくなったり、一見してできているようでも、不完全な場合が多くなる。
- ②入院や転院の場合も普段から使用しているなじみの環境作り。
- ③認知症は進んでも心は豊かに生きています。尊厳を大切にする介護。
- ④仕事や動作のお膳立て、あるいは簡単な役割を用意する。
- ⑤骨折、脳卒中、風邪などの原因による寝たきりをつくらない。
- ⑥穏やかな語りかけ、優しいまなざし、笑顔により不安が和らぐ。
- ⑦説明より、フィーリングや感情を大切に。
- ⑧「しっかりしてよ」の言葉より、今できる事や、残されている働きを大切に。
- ⑨介護に対して常に全力投球をしないこと。公的サービスの利用を。

認知症のご相談、介護をされている方の悩みやご相談、介護保険についてなどいつでもご相談をお受けいたします。お電話を頂ければご自宅にもお伺いいたします。
1人で抱え込まない事が大切です。

通所リハビリテーション 「学ぶこと、話すことは くもん学習療法開始！」

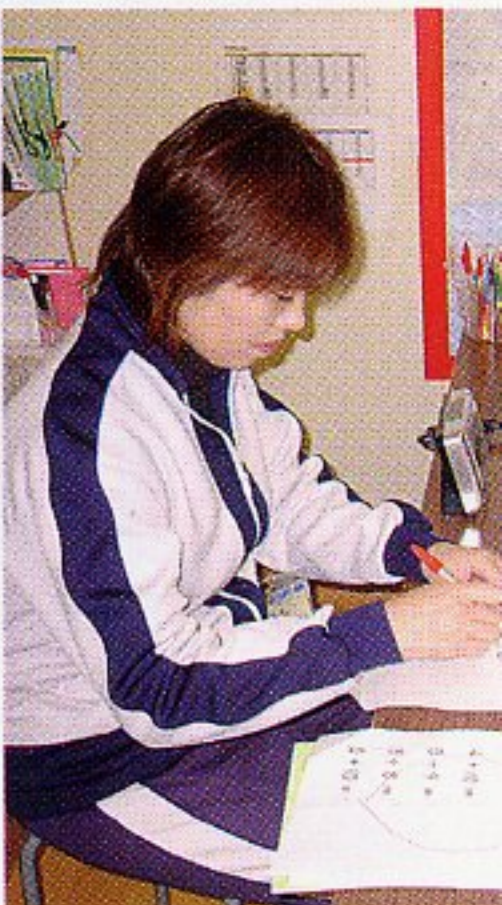


東北大学の川島教授が、簡単な計算問題を解き出して文章を読み、認知症の症状に関係する含む脳全体が活性化しています。

音読と計算を中心とした学習を、コミュニケーションをとりながら前頭前野を活性化し認知症の維持・改善を目的とした「くもん学習療法」を、当事業所では、昨年の10月から現在11名の方が、学習を楽しみにし、参加されています。

学習者の変化

- 笑顔がでてくる
- 表情がおだやかになってくる
- 積極性がでてくる
- 夜間眠れるようになる



ヘルパーステーション 健ちゃんNEWS Vol.2



元気な暮らしは、食事から

「元気な暮らしは、食事から」の思いで、安心安全で美味しい食事作りに力を入れています。調理師免許を持ったヘルパーを中心に、医師や栄養士と連携を図り軟食・摂食嚥下障害食・糖尿病食など利用者様にあった食事作りを行っています。



笑顔で安心した生活が送れるよう支援させていただきます。

今では、体調がよい時には看護師の介助にてお風呂に入れるようになりました。



動けるようになってから、表情も豊かになり、ご家族との会話も増えました。笑顔も多くなりました。今では1人で起き上がり、歩行器を使って歩けるようになりました。





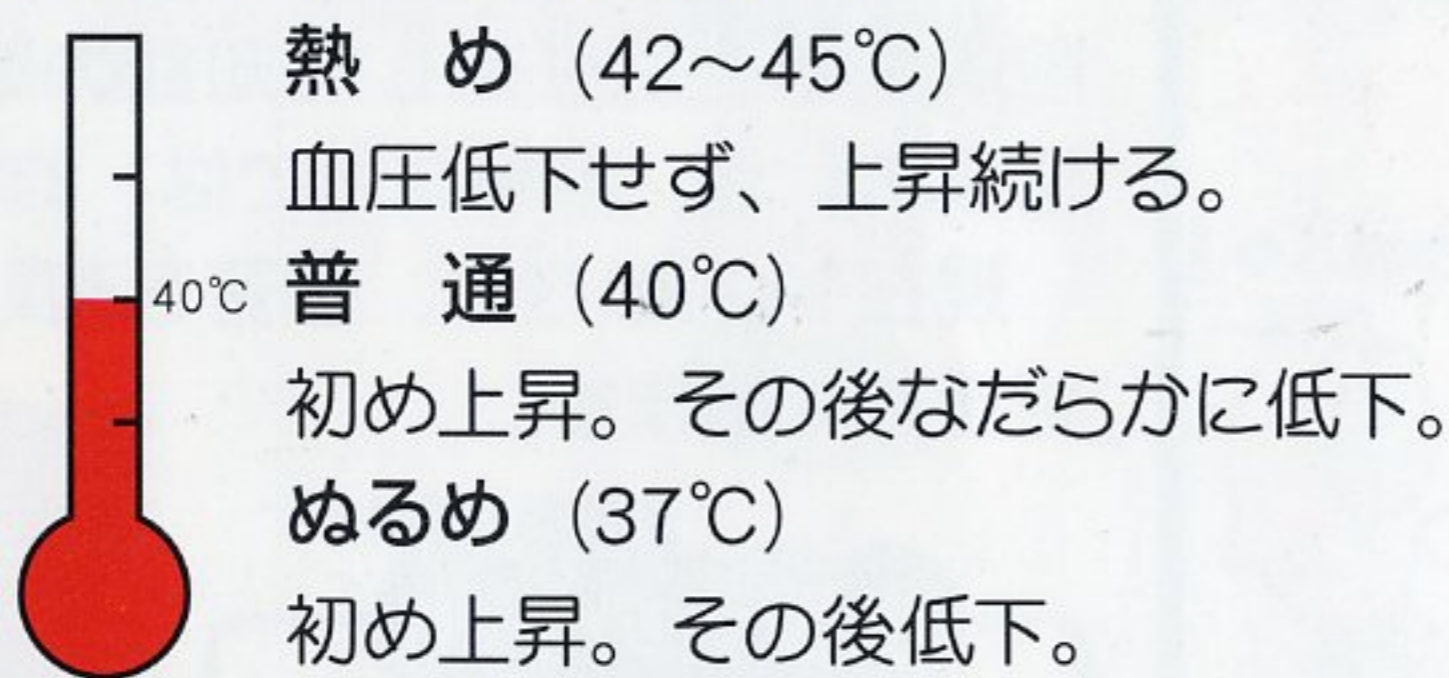
通所リハビリ看護ニュース

入浴時の注意点

日本人はお風呂好きで、しかも熱めのお湯を好む人が多いようです。今の季節ゆっくり長湯してしまいがちですが、高齢者の場合には血压などの関係で注意が必要です。その理由として

- ①冬は血管が収縮し、血压が上昇しやすい。
- ②家の中でも温度差が大きい。
(特に脱衣所と浴室の温度が低い)

お湯の温度に注意を!!



入浴による血压の変化

お湯の温度は40℃以下に抑えることが基本です。(突然死とお湯の関係では、41℃を超えると危険ゾーンに入り、42~43℃で死亡事故が急増する傾向があります。)

●注意点

入浴中はたくさん汗をかきます。ドロドロ血にならないように入浴前後はコップ1杯の水分を摂取するようにしましょう。

入浴時

- ①入浴時血压は変動します。入浴前に四肢などの部分浴(かけ湯)は血压の上昇を和らげます。
- ②湯舟につかる時間は5分と長湯しないようにしましょう。



出浴時

- ①寒冷時入浴直後に血压の上昇を起こすため、脱衣室は温めておくことが必要です。
- ②出浴後血压が低下していますのでゆっくりすすようにしましょう。

住宅改修について

講師/保険サービスセンター
川島整形外科病院●健康教室にて

『介護が必要になっても自宅で生活するために~介護保険の住宅改修を利用して』のテーマで、住宅改修の概要や申請の流れを、実際に行った改修を写真やイラストを用いて、講演を致しました。

介護保険の住宅改修を受ける為に注意する点

- ①介護保険の認定を受けることが必要です。
- ②住宅改修を行う時には事前に市、町へ申請をして、審査を受ける必要があります。(この審査に通らないと工事をする事ができません。)
- ③住宅改修の全てが対象となるわけではありません。

※介護保険制度を利用して住宅改修を行う場合は、まず、ケアマネージャーや市、町に相談する事をお勧めします。



お知らせ

在宅事業部のホームページ開設。

「医療法人玄真堂」で検索して下さい。

在宅相談コーナーも設けていますので、ぜひご覧下さい。



この新聞内容についてのお問い合わせ、サービスを受けたい方は下記にご連絡下さい。
●お問い合わせ先 TEL.0979-24-2423 介護保険サービスセンターまで